

幼児教育学科 1年後期 総合科目

1. 富山コミュニティー論

2. 生涯スポーツ実技

幼児教育学科

科目名: 富山コミュニティー論			担当教員 氏名: 学科・専攻AD						
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
1	1年次 後期	総合科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。					教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、 『私』宣言、地域社会に生きる「私」、 実践躬行				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 7. 8. 9. 10					
D	問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。							
E	自己管理能力	地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。							
G	倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。							
F	チームワーク・リーダーシップ	【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。							
C	論理的思考力	【生涯学習力】自らが設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。							
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	30 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	40 %
特記事項: その他については、授業への積極的な取り組みとグループへの貢献度によって評価する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回、ADが計画と実施の報告を受け、指導する。									
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)						
			学習内容	学習に必要な時間(分)					
①【各学科】学修の進め方、地域調査の基本について。地域社会に生きる「私」をつくる			【予習】シラバスの確認		【予習】30分				
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①			【予習】計画書の作り方を調べる		【予習】30分				
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②			【予習】計画書の確認		【予習】60分				
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる③			【予習】計画書の確認と体験にむけて		【予習】60分				
⑤【AD】連携機関との打合せ			【予習】ノートの整理		【予習】60分				
⑥【AD】調査計画の修正			【予習】報告書の書き方を調べる		【予習】60分				
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①			【予習】発表準備		【予習】60分				
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②			【復習】レポート作成		【復習】60分				
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③									
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④									
⑪【AD】地域課題の解決策の検討①									
⑫【AD】地域課題の解決策の検討②									
⑬【AD】学習成果のまとめ①									
⑭【AD】学習成果のまとめ②									
⑮【全学科】学習成果報告会 Uホール									
使用テキスト: 特にありません。			その他参考文献など: 佐藤郁哉: フィールドワークの技法-問を育てる、仮説をきたえる 社会学やさまざまな領域の文献を探求的に探し参考にしたい。						
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・「地域つくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に実践的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。									

幼児教育学科									
科目名： 生涯スポーツ実技			担当教員 氏名： 泉 敏郎、小川 耕平						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	実技	必修	保育士資格指定科目(必修) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)			
実務経験を用いてどのよ健康運動指導士として、健康づくりの指導をしていたことから、実践から継続につなげるための意欲の向上 うな授業を行っているか： について重点的に指導するようにしている									
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード				
生涯を通じ体を動かすための知識と技術を習得する。また、集団で活動することでコミュ ニケーション能力の構築も実践する					・生涯スポーツ ・コミュニケーション ・体験学習				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)						
A 知識・理解力			生涯スポーツに必要な知識について理解する						
D 問題解決力			様々な状況に応じて各人が判断する能力を高める						
F チームワーク・リーダーシップ			チームメイトと協力して実技を行う						
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	50 %	発表：	%	実技試験：	50 %	その他：	%
特記事項：									
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 課題レポートの提出と簡易体力測定による評価									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
①オリエンテーション・コミュニケーションゲーム				復習：自らのスポーツ歴について理解する	15分				
②体力測定①(シャトルラン)				復習：体力向上ための目標設定	15分				
③インクルーシブスポーツを体験する				復習：インクルーシブについて	15分				
④サッカー				復習：ボールゲームの実践	15分				
⑤転がしドッジボール・ドッジボール				復習：ボールゲームの実践	15分				
⑥キックベース・Tボール				復習：ボールゲームの実践	15分				
⑦ビーチボール：基本練習				復習：ビーチボールのルールを理解する	15分				
⑧ビーチボール：基本練習				復習：ビーチボールの技術を理解する	15分				
⑨ビーチボール：試合				復習：ビーチボールの技術を理解する	15分				
⑩ビーチボール：試合				復習：ビーチボールの技術を理解する	15分				
⑪ビーチボール：試合				復習：ビーチボールの技術を理解する	15分				
⑫ダンス体験				復習：ダンスのリズムを復習する	15分				
⑬ヨガ体験				復習：ヨガを復習する	15分				
⑭体力測定②(シャトルラン)				復習：体力の変化について確認する	15分				
⑮振り返り				復習：体力を評価する	15分				
使用テキスト： 特になし。				その他参考文献など：運動とスポーツの生理学					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・実技の時は、アクセサリを外すこと。 ・動きやすい服装で参加し、必ずうち履きシューズを履くこと。									